平成 24 年 11 月９日

各　　位

会 社 名　　石 原 産 業 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役社長　藤 井 一 孝
コード番号　　4028 東証・大証第一部
問合せ先　　取締役財務本部長 寺 川 佳 成
（TEL.　06－6444－1850）

第２四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年８月 10 日に公表しました平成 25 年３月期第２四半期累計期間（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）の業績予想と実績に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年５月 14 日に公表しました通期業績予想について、下記の通り修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

１.平成 25 年３月期第２四半期累計期間予想数値との差異（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）

（1）連結業績予想数値との差異

	売　上　高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当り四半期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	百万円 55,000	百万円 1,400	百万円 △200	百万円 △200	円　銭 △0.49
今　　回　　実　　績（B）	53,658	2,365	325	3	0.00
増　　減　　額（B－A）	△1,342	965	525	203	
増　　減　　率（%）	△2.4	69.0	-	-	
（ご参考） 前期第２四半期累計期間実績	54,729	3,197	647	△158	△0.39

（2）個別業績予想数値との差異

	売　上　高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当り四半期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	百万円 37,000	百万円 △400	百万円 △1,900	百万円 3,400	円　銭 8.49
今　　回　　実　　績（B）	37,612	791	△1,018	3,969	9.92
増　　減　　額（B－A）	612	1,191	882	569	
増　　減　　率（%）	1.7	-	-	16.8	
（ご参考） 前期第２四半期累計期間実績	33,948	2,054	203	△219	△0.54

２.平成 25 年３月期通期業績予想の修正（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）

（1）連結業績予想の修正

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り当期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	百万円 120,000	百万円 9,000	百万円 5,600	百万円 3,500	円　銭 8.74
今　回　修　正　予　想（B）	104,000	600	△1,800	△2,000	△4.99
増　　減　　額（B－A）	△16,000	△8,400	△7,400	△5,500	
増　　減　　率（%）	△13.3	△93.3	-	-	
（ご参考） 前期（平成 24 年３月期）実績	102,378	9,760	8,012	2,951	7.37

（2）個別業績予想の修正

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り当期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	百万円 99,000	百万円 6,300	百万円 2,700	百万円 6,000	円　銭 14.99
今　回　修　正　予　想（B）	84,000	900	△2,100	3,200	7.99
増　　減　　額（B－A）	△15,000	△5,400	△4,800	△2,800	
増　　減　　率（%）	△15.2	△85.7	-	△46.7	
（ご参考） 前期（平成 24 年３月期）実績	79,576	8,485	6,659	2,155	5.38

３.差異及び修正の理由

第２四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は、酸化チタンの海外販売が前回引き下げた想定を更に下回ったことなどから、前回予想より減収となりました。営業利益は、研究開発費など一部経費が翌四半期以降にずれ込んだことなどから前回予想より改善しましたが、為替差損の増加などにより経常利益、四半期純利益の改善幅が縮小しました。なお、個別業績予想との差異につきましても、連結業績予想との差異と概ね同様の理由によるものであります。

通期業績予想につきましては、主に酸化チタンの海外販売量の想定を大幅に引き下げたこと、それに伴う生産調整の強化やチタン鉱石価格高騰が製造コストに本格的に影響する中で市況の軟化が続くなど、酸化チタン事業の採算性が急激に悪化して行く状況を考慮して、平成 24 年５月 14 日に公表しました通期の業績予想数値（連結・個別）を上記の通り修正いたします。

当社は、現下の厳しい事業環境を真摯に受けとめ、経費並びに設備投資の削減に取り組んでおりますが、今後更に役員報酬の減額を含めた徹底した経費などの削減を進め、全社一丸となって業績改善に向け取り組んでまいります。

なお、この見通しの算出に際して前提としている第３四半期以降の主要通貨の為替レートは、80円／米ドル、100円／ユーロと想定しております。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上